

(氏名) 佐藤 公俊	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 教育活動</p> <p>①3、4年生のゼミナール活動に関して、2019年9月3日(火)～5日(木)に静雄赤 県熱海市で夏合宿を行った。プログラムは4年生の卒論研究報告会、3年生の共同研 究報告会、3、4年生によるグループ・ディスカッション等であった。</p> <p>②3、4年生のゼミナール活動に関して、2019年12月13日(金)～15(日)にイン カレ合同ゼミ合宿(参加ゼミは富山大学経済学部青木一益ゼミナール、茨城大学人文 学部井上拓也ゼミナール、高崎経済大学地域政策学部佐藤公俊ゼミナール)を行った (2008年度より継続)。本年度は国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、 4年生の卒論研究報告会、3年生の共同研究報告会等を行った。</p> <p>③2年生のゼミナール(基礎演習)として、7月から11月までの研究成果を問うため に、地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学内プレゼンテーション大会」へ 全員が出場した。(2011年度より継続)。</p> <p>④3年生のゼミナール活動に関して、地域政策学部ゼミナール協議会主催の「三扇祭学 内プレゼンテーション大会」に3チームが出場した。チーム「ふあふあながらスマホ」 が2位を獲得した。</p> <p>⑤3年生のゼミナール活動に関して、中央大学で開催された「第59回日本学生経済ゼ ミナール関東部会(インナー大会)プレゼンテーション部門」に2チームが出場した。 チーム「ドローン丸」はブロック内2位の成績を収めた。</p> <p>⑥2、3、4年生のゼミナール活動に関して、9月19日(木)に地域政策学部森周子ゼ ミナールとのインゼミを行った。プログラムは3年生の研究報告であった。</p> <p>(2) 研究活動</p> <p>【学会活動等】</p> <p>①日本地域政策学会常任理事・広報委員長として運営に関った(2018年7月～現在)。 ②日本公共政策学会学術委員会総合政策査読小委員会委員として運営に関った(2018 年度～現在)。 ③日本地域政策学会政治行政部会に参加した。 ④複数の学会で、投稿論文の匿名査読を行った。</p> <p>【公表論文等】</p> <p>・佐藤公俊「権力の実体概念と関係概念」「権力の令和概念と非令和概念」堀江湛・加 藤秀治郎編『政治学小辞典』一藝社、2019年12月、2-5頁。</p> <p>(3) 学内行政</p> <p>学生部長として、業務を遂行した。</p> <p>(4) 社会貢献</p> <p>①高崎市職員研修講師として、「政策形成の基礎」に関する職員研修を行った(2014年 度より継続)。 ②川口市行政評価外部評価委員会委員(副委員長・第二部会長)として委員会および 部会の会議を主宰した。また、川口市企画財政部行政経営推進室の業務に対する助言 等を行った(2010年度より継続)。 ③群馬県立文書館運営協議会委員として活動した(2010年度より継続)。 ④安中市行政改革審議会委員として活動した。(2012年度より継続)。2018年度より 行政改革審議会議長である。 ⑤安中市公立碓氷病院の在り方検討委員会委員・副委員長として活動した(2015年度 より継続)</p>	

- ⑥渋川市行政評価専門部会・事務事業評価〈二次評価〉コーディネータをつとめた(2012年度より継続)。
- ⑦渋川市職員研修会講師として行政評価に関する職員研修を行った(2014年度より継続)。
- ⑧上毛新聞(2019年4月8日付)に「機能、権限見直しを」という県議会議員選挙の解説記事を寄稿した。
- ⑨上毛新聞(2019年4月28日付)の「視点・オピニオン」欄において「本質理解し、その先へ」という題目で寄稿した。
- ⑩上毛新聞(2019年6月16日付)の「視点・オピニオン」欄において「自分の鍛え方、再考を」という題目で寄稿した。
- ⑪上毛新聞(2019年8月8日付)の「視点・オピニオン」欄において「教える側も研鑽必要」という題目で寄稿した。

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

- ①2016年度より行っている「空き家特別措置法施行後の空き家対策に関する総合的研究」に関する研究成果について、今年度に発表したものを基礎としてより進んだ研究行いたい。
- ②2016年度より行っている「1940年代の地方公務員のリクルートメント」に関する基礎的研究について、今年度も継続したい。